

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	10
事業名	消防団員人件費	会計	款	項	目
		一般	9	1	2
施策	1	安全・安心なまち		課名	環境防災課
	1-1	安全・安心のまちをつくる		係名	危機管理室
	1-1-1	消防・防災対策の充実			
主要施策	⑤消防団の活性化				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。
事業内容	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。 非常時に召集し、火災や風水害などの災害活動を行うほか、地域に密着した火災予防広報、応急手当普及活動、自主防災組織の訓練指導などの予防防災活動を行うことによる人件費。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	消防団の訓練回数	24	24	24	回		24
2	消防団員数	94	92	94	人		98	
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			6,342		6,413		6,815	
財源内訳	直接事業費 A		4,554		4,625		4,889	
	うち一般財源		4,554		4,625		4,889	
人件費 (千円) B			1,788		1,788		1,926	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.26		1716		0.27	
	臨時職員 (人・千円)		0.04		72		0.08	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	運転免許制度の改正により消防ポンプ自動車運転に必要な免許取得に係る助成を継続する。	③取組の課題	団員確保のための、報酬及び手当の定期的な見直し。
②R2年度に実施した取り組み	出勤手当及び訓練手当の見直し。	④今後の改善計画	運転免許制度改正に伴い、消防ポンプ自動車運転に必要な免許取得補助事業の継続。